

令和6年度 全国学力・学習状況調査分析

本校では、国語・算数とともに全国平均をやや上回る結果となりました。その中でいくつか課題も見られますので、2学期以降の学習に役立てていきます。課題と対策を以下に示します。

国語

「読むこと」「話すこと・聞くこと」の思考・判断・表現の内容で、記述で答える問題の正答率が低かった。自分の考えなどを記述しても、必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えることに課題が見られた。また、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き方の工夫に課題がある。

【具体的な対策】

- ・伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていることができるよう指導の充実を図る。
- ・記録、要約、説明、論述、話合い等の言語活動の工夫を行う。
- ・複数の資料から読み取るときには、聞き手が何を求めているか正しくつかみ、伝えることを明確にするよう指導する。

算数

「変化と関係」「図形」「データの活用」の思考・判断・表現の内容で、記述で答える問題の正答率が低かった。図形については、基礎的・基本的な知識・技能は身についている深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題が見られた。また、折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまるなどを記述することに課題がある。判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。

【具体的な対策】

- ・日常生活の中で活用できる知識・技術を習得させるために、各学年でおさえるべき基礎的・基本的な内容の定着を図る。(繰り返し、ミニテストや単元末の復習問題)
- ・グラフを読み取れたことを伝えあうことや問題を求めるときの解き方を自分の言葉や式を用いて記述する演習問題を行い、見いだしたことを言葉と数を使って表現する力を身に付けさせる。
- ・問題を読むときに、分かっていることや聞かれていることに線を引きながら、問題をよく読み、聞かれていることを答えられるように読み取る力をつける。

全国学力・学習調査については、以下をご覧ください。(茨城県教育委員会HPより)

<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/compulsory-education/gakuryoku/learning-research/>